

**第 1 2 回介護報酬改定検証・研究委員会（平成 28 年 9 月 23 日）  
における調査票に対する主な意見について**  
(議事の概要を事務局がとりまとめたもの)

**【全体】**

- 各調査票に地域との関係性を尋ねている設問がいくつかあるが、用語が様々であるので、同一の趣旨なら統一すべき。
- 「同法人」「同系列」と言葉が様々出て来るが、「同系列」を含めて聞くべき。

**【個別調査票について、主な意見】**

**(1) 通所リハビリテーション、訪問リハビリテーション等の中重度者等へのリハビリテーション内容等の実態把握調査事業 ※ 資料 1 別紙 1**

- 特に意見なし。

**(2) 病院・診療所等が行う中重度者の医療ニーズに関する調査研究事業 ※ 資料 1 別紙 2**

- 「退院先」について、死亡例を含めるのであれば、選択肢に含めるべき。

**(3) 介護老人保健施設における施設の目的を踏まえたサービスの適正な提供体制等に関する調査研究事業 ※資料 1 別紙 3**

- 「居宅」について、本人の自宅だけを指すのか、サ高住等も含むのか、定義付けが必要。

**(4) 介護老人福祉施設における医療的ケアの現状についての調査研究事業 ※ 資料 1 別紙 4**

- 配置医が不在のときのケアについては尋ねているが、出勤しているときにどんな医療行為をしているのかも聞くべき。
- 施設の看取りの方針が配置医や協力医療機関との関係で決まることは大いにあるので、そのあたりの協力体制の状況も把握すべき。
- 専門の診療科は昨年度の特養への調査結果をもとに検討すべき。
- 「搬送理由」について、選択肢をわかりやすく再考すべき。

**(5) 居宅介護支援事業所及び介護支援専門員の業務等の実態に関する調査研究事業 ※ 資料 1 別紙 5**

- 「ケアマネジャーに対して特定の事業所やサービスをケアプランに位置づけるような指示の有無」に対し、様々なケースを想定した選択肢にすべき。
- 「地域密着型サービスについて」では、地域密着型サービスの機能や内容について知っていることと、地域密着型サービスのケアマネジメントの制度について知っているかどうかは分けて聞くべき。

- 「業務プロセスの負担感」については、負担感が大きい中での実施状況も把握すべき。
- どのアセスメント方式を利用しているか聞いてはどうか。

**(6) 認知症高齢者への介護保険サービス提供におけるケアマネジメント等に関する調査研究事業 ※ 資料1別紙6**

- 1 拠点（併設事業所含む）に沢山の票が届かないよう、配慮してほしい。配慮を優先するとそのために標本のバイアスも発生するので、一定程度の協力は必要である。両立させられるかどうか、バランスを考えてほしい。
- 設問の用語がわかりにくい点が見られたため、一度、実際のケアマネジャーにチェックしてもらうことが望ましい。

**(7) 介護保険制度におけるサービスの質の評価に関する調査研究事業 ※ 資料1別紙7**

- 特に意見なし。